

福島県在宅保健師の会「絆」会報

会長あいさつ 七宮ひろみ



令和初めての開催の総会により選出され、新役員体制でスタートする事になりました。2年間の任期ですがよろしくお願いいたします。

また、同日開催の事務局と一体となって進めてきた『福島県在宅保健師の会「絆」の設立20周年記念事業』を無事終了することができました事を喜びたいと思います。

さて、国保を取り巻く状況も大きく変化し、市町村毎の保険者から県一本の保険者となり、生活習慣病対策が強化されてきているところです。そんな中で私たちの会は、地域の保健活動への協力が求められております。日々変化する健康問題に対応するためにも、研修会に参加し、資質の向上を図り、対応する力をつけていきたいものです。

さらに、活動推進に向けては、会員数の増員対策が大切になってきます。会の運営は難問ばかりですが、会員同士の一層の親睦・交流を図り、楽しい会にしていけるよう努力していきたいと思います。



福島県在宅保健師の会「絆」設立20周年記念式典

令和元年9月7日(土) 福島市 ホテル福島グリーンパレス

ホテル福島グリーンパレスにおいて設立20周年記念式典が行われました。来賓として国保中央会 調査役 鎌形喜代実氏の御臨席を賜り、御祝辞をいただきました。【20年の歩み】を福島県在宅保健師の会「絆」荒井恭子顧問が、懐かしいエピソードを交えながら発表し、荒井顧問の長年の活動に感謝の意を込めて嵯峨会長から花束を贈呈しました。

国保中央会 調査役 鎌形喜代実氏より特別講演として「国の動きを踏まえた在宅保健師に期待する役割と今後の方向性」のテーマで、厚生労働省の資料や福島県の医療計画等の資料を基にした講演を行いました。在宅保健師に期待する役割として、培ってきたキャリアをセカンドキャリアとして生かし、市町村保険者等への支援と協力、医療・健康への切り口から地域づくりや健康づくり活動に参画してほしい、私たちに在宅保健師の活動の方向性を示し頂きました。



記念講演は、元ラジオ福島アナウンサーの大和田新氏を講師にお迎えしました。震災後被災地に何度も足を運び、たくさんの住民を取

材し、その中で感じたことや出来事これから実践していくことをユーモアを交えながら話していただきました。

「日本一の長寿県」を目指し、檜葉町出身の永山久夫先生の長生きソングを何度も参加者全員で歌いました。出版した「大和田ノート」の作成秘話や「日本で一番大切にしたい会社」に選ばれたクラロンの女性社長田中さんのお話など感動的なお話でした。

出席した皆様からは「自分の生活を振り返る学びの多い感動的な講演会でした」「被災者(地)責任という言葉にハッとさせられた」等の感想が寄せられました。

その後、短時間ではありましたが「健康劇：糖尿病」の活動発表、各テーブルにおいてお互いの近況を報告し交流を深めました。



皆様に御協力いただきましたアンケート結果につきましては、別添資料を御覧ください。

平成30年度福島県在宅保健師の会「絆」総会
令和元年9月7日(土) 福島市 ホテル福島グリーンパレス

平成30年度総会が会員22名の出席により開催されました。

○令和元年度事業内容については、保健師劇団公演や研修会の実施、連合会受託事業である後期高齢者医療重症化予防事業や特定健診・保健指導人材育成事業、特定保健指導低率保険者へ支援活動することが承認されました。

○令和元年度総会は、令和2年9月に福島市内で開催予定です。

○役員改選があり、新会長に県中・県南地区会 七宮ひろみさんが選出されました。

(新役員名簿は、6ページに掲載しております。)



総会出席者で記念撮影

平成 30 年度東北地方在宅保健師等会連絡会議

平成 30 年 12 月 6 日～7 日 岩手県開催

岩手県盛岡市「ホテルルイズ」において、12 月 6 日は「地域で元気に生きていくために」のテーマで一関国保藤沢病院 病院事業管理者 佐藤元美氏と「国の保健事業に関する動向と在宅保健師等会への期待」というテーマで国民健康保険中央会 調査役 鎌形喜代実氏のお二人から講演をいただき、他県の会員の方と交流を深めました。翌日はグループ討議で、日ごろの活動状況について情報交換を行いました。

【研修会に参加した会員の感想】

○会員 2 名、連合会担当者 2 名で参加してきました。毎年、東北 6 県、新潟県と交代で開催されているそうです。1 日目は、一関市国保藤沢病院 佐藤元美先生(事業管理者)と国民健康保険中央会調査役 鎌形喜代実氏の講演がありました。印象に残ったのは、当時 25 年間病院が無かった藤沢に町長からの熱い思いを託され、佐藤先生が、平成 5 年に病院長として赴任し、住民との対話を通し、住民とともに作り上げる医療を推進している現状をお聞きし、関係者の熱意に心が熱くなる思いをしました。鎌形氏からは、国の保健事業に関する動向と、2040 年を展望し、だれもがより長く元気に活躍できる社会の実現を図るための取組等についての講話があり、後期高齢者の重症化予防等の取組が、重症であることから、広域連合と市町村との連携が強化される等の話がありました。2 日目は、テーマなしのグループ討議があり、情報交換の中で、共通課題として、会員拡大が大切であり、退職時に会報とロコミでお誘いすることが効果があるのでは、との意見でまとまりました。また、独自で会費を取り運営している会からは、連合会との連携が希薄になるため、情報を密にし、会の活動を強化していきたいとの意見が出されました。会議を通し、専門職として最後まで活躍したいとの思いに溢れ、生き生きとしている姿に大きな刺激になり、実り多いものとなりました。

(五十嵐八重子さん:会津地区会)

○2 日間の研修会に参加させていただき感謝しています。研修会で感動したのは、佐藤先生が院長先生として就任され、住民とともに、語り合う医療を作り上げる姿でした。「住民の人生を聞いて残す医療」聞き書きで患者さんのそばに寄り添い「地域で生きる人の物語を知ること」を実践していることに感動しました。また、鎌形調査役の講演では、在宅保健師等の活動に期待されていることが確認できました。グループ討議では、会員拡大が共通課題であることを知り、活動強化のために微力ながら頑張っていきたいと思いました。

(星なか子さん:会津地区会)

令和元年度東北地方在宅保健師等会連絡会議

令和元年 12 月 5 日～6 日 宮城県開催

アパホテルTKP仙台駅北(宮城県)において、「被災者の命を守るためにまず何をすべきか？」のテーマで、宮城県災害医療コーディネーターで南三陸病院副院長の西澤匡史氏より講演をいただき、「東日本大震災の経験から-防災・減災に女性の視点で取り組む-」というテーマで特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事 宗方恵美子氏から講演いただきました。引き続き開催された交流会では、他県の会員の方と交流を深めました。翌日は「国民健康保険の動向と在宅保健師等会への期待」と題して国民健康保険中央会 調査役 鎌形喜代実氏より講演いただき「災害支援について」のテーマでグループワークを行いました。

【研修会に参加した会員の感想】

○会議の目的の一つとして在宅保健師等の役割・活動の方向性を考える機会とすることが掲げられていた。

国保中央会から①在宅保健師等の人材は、令和 2 年以降高齢者の保健事業・介護予防の一体的実施においても有効、かつ必要な要素になる。②在宅保健師等が活動しやすい体制構築が図られるよう事業実施に係る補助金の獲得、中央会としての支援の在り方等を検討し、情報提供を行っていく。

この二つの内容は、「絆」の活動の方向性、内容を考える上で参考になった。本県の健康課題解決に向けて、国保連合会の支援を受け、微力ながら活動していけたらと思っております。

(丹野由美子さん: 県北地区会)

○初めて参加し今後の在宅保健師の会活動の在り方について考える良い機会となりました。特に市町村保健師活動を支援する体制が構築されていることや保健事業と介護予防の一体的な実施事業として高齢者への健康教育も実施していること、さらには災害時の支援活動等市町村が抱える課題に連動した在宅保健師として活動していることに刺激を受けました。

(佐藤七重さん: 県中・県南地区会)

○東北6県と新潟県の方々のパワーに驚きました。

講演では、「東日本大震災での対応」について医師、そして女性の視点からそれぞれ発表されました。

グループワークでは、これに関連して「災害支援での在宅保健師として考えられる対応」を話し合いました。各県の在宅保健師の情熱を強く感じました。

今までの経験を生かし微力ではありますが、活動していきたいと思えます。

(猪越京子さん: 県中・県南地区会)



平成 30 年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会

平成 31 年 1 月 28 日 JA 共済ビル

平成 31 年 1 月 28 日(月)に 42 都府県 82 名の参加があり、本会からは嵯峨会長(前会長)と事務局担当者の 2 名が参加しましたので、その内容を紹介します。

- ① 「保健事業を取り巻く国の動き」を国保中央会保健事業部長 小池泰明氏より、保険者努力者支援制度、後期高齢者医療制度の保険者インセンティブ、糖尿病重症化予防事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、特定健診・特定保健指導の実施状況等今後重要になる保健事業について説明がありました。
- ② 「高齢者の保健事業~低栄養防止への取り組み~」として、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科教授 田中和美氏より高齢者の栄養状態の特性、大和市の事例の紹介、介護予防と一体的に実施するために個別事例を通して具体的な対応についての講演でした。
- ③ 事例発表一例目は、静岡県在宅保健師の会「つつじ会」会長 鈴木富士子氏より、「魅力ある在宅保健師会を目指して」と題して活動報告がありました。事例発表二例目は、「特定健診等保険者支援について」と題して大阪府在宅保健師の会副会長 上柳頼子氏より、特定健診未受診者対策事業について説明がありました。

最後に「今年度取り組んだ事業について~その現状と評価について~」のテーマでグループ討議を行い、それぞれの会が課題を抱えながら活動をしていることが分かりました。

令和元年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会

令和 2 年 2 月 6 日 全国都市会館

令和 2 年 2 月 6 日(木)に全国 39 都府県より 79 名の参加があり、本会からは七宮会長と事務局担当者の 2 名が参加しましたので、連絡会の内容を報告します。

- ① 国保中央会保健福祉部主幹 小池泰明氏より「保健事業を取り巻く国の動き」として令和元年 6 月 2 日閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針 2019、「2040 年を展望した社会保障・働き方改革本部」の取りまとめの概要、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施に係る在宅保健師の役割等について説明されました。

- ② 「高齢者の保健事業について介護の現状から考える～医療専門職の果たすべき役割～」のテーマで、奈良県生駒市福祉健康部次長の田中明美氏より、生駒市の介護予防事業の紹介があり、在宅保健師の役割・期待する事についての講演がありました。
- ③ 中央会保健師の成瀬沙弥華氏より都道府県在宅保健師等会に係る調査結果報告がありました。令和元年9月現在で40都府県に設置され、会員数は3,707名。活動としては、総会・役員会の開催、研修会の実施、会報誌等の作成、市町村の特定健診保健指導に関する事業、健康づくり等イベントの参加、地域活動等多岐にわたっています。しかし、会員の高齢化と減少、活動参加者の減少と固定化は全国共通の課題となっており、新規会員拡大に向けて取り組みを開始しています。
- ④ 事例発表一事例目は、大分県在宅保健師等「虹の会」会長 日隈桂子氏により、モデル事業「お元気ですか訪問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の報告でした。この事業は、健康状態不明高齢者の訪問で、終了後にはカンファレンスを行い、課題が見えてきたとの事でした。二事例目は、神奈川県在宅保健師会「いちろうの会」副会長 斎藤初代氏による「いちろうの会」の活動、1健康劇 2災害ボランティア研修会 3交流会・研修会の3事業、特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業についての実践報告でした。最後にグループ討議を行い情報交換しました。

福島県在宅保健師の会「絆」保健師劇団公演

平成30年10月から令和2年2月まで、下記の通り、市町村等からの依頼により各会場4名の会員が健康劇と講話、健康体操を実施しました。

参加者からは「身近な内容でわかりやすい」「笑いながら自分のことを振り返りました」「家族にも伝えたい」等と好評です。

月 日	場 所	対象者	参加者数	内 容
1月28日	大玉村保健センター	大玉村食生活改善推進員	15名	高血圧症・健康体操
2月19日	大玉村保健センター	大玉村ヘルスアップ会	13名	糖尿病・健康体操
3月14日	大玉村保健センター	おおたまかあちゃんの会	30名	糖尿病・健康体操
5月13日	福島市清水地区学習センター	清水地区老人クラブ会員	50名	糖尿病・健康体操
6月27日	福島市森合地区会館	森合地区会館近隣高齢者	12名	高血圧症・健康体操
7月3日	福島市日井古屋集会場	日井古屋むつみ会会員	20名	認知症・健康体操
11月5日	大玉村大山公民館	ほっとふれあいサロン会員	15名	糖尿病・健康体操
1月31日	大玉村保健センター	大玉村食生活改善推進員	30名	糖尿病・健康体操

※健康劇は、シナリオ検討委員によりシナリオが完成していますので、演じやすい内容になっています。「一緒に活動してみたいな。」と思われた方は事務局にお声掛けください。

講話で使用するスライド【例】

生活習慣病にさようならパート1

生活習慣病にさようならパート2

新役員の紹介

新役員

会長 七宮 ひろみ(県中・県南) 副会長 星 なか子(会津)
幹事 松田 愛子(県北) 幹事 丹野由美子(県北)
幹事 猪越 京子(県中・県南) 幹事 岡崎 恵子(県中・県南)
幹事 五十嵐 八重子(会津) 幹事 菅野 クニ(浜通り)
幹事 吉田 良子(浜通り) 常任幹事 菅野 誓子(連合会)
顧問 荒井 恭子(県北) 顧問 嵯峨 圭子(浜通り)

【任期:令和元年10月1日~令和3年9月30日】

よろしくお願いします。

新会員のお知らせ

令和元年5月~令和2年2月の期間で新たに入会された新会員の皆さんをお知らせします。

地区会	会 員 名
県北	渡邊陽子 石川香奈 佐藤京子 宮崎恵美 菅野八重子 (受付順)
浜通り	松本ミツ子

6名の新会員をお迎えしました。一緒に活動できることうれしく思います。
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

会員 募集中

会員の申し込みを随時受け付けています。

お知り合いの方がいらっしゃいましたら、申込書類をお送りしますので、下記事務局まで連絡をお願いします。

会員になるとこんないいことが!!(入会金・年会費無料)

- ★無料で研修会を受講できます。
- ★地区会での交流会に参加できます。
- ★今までのキャリアをいかして、市町村保健活動の支援ができます。
- ★会報が届きます。



編集後記

4月より連合会に専門員として勤務しています。会員の皆様と共に活動していきたいと思っています。御協力よろしくお願いいたします。
(菅野誓子)

福島県在宅保健師の会「絆」会報 第19号

発行日:令和2年3月

事務局:福島県国民健康保険団体連合会

事業振興課保健事業係

〒960-8043 福島市中町3番7号

TEL024-523-2754 FAX024-523-2704